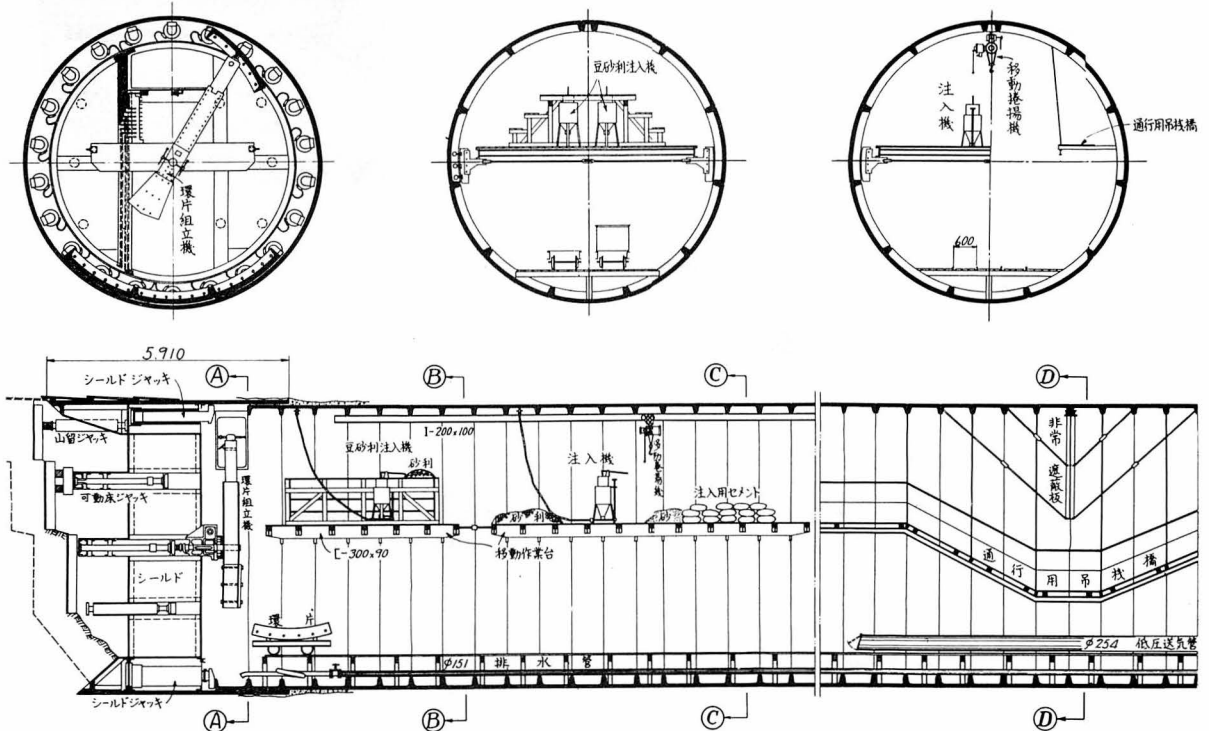


①-① 断面

②-② 断面

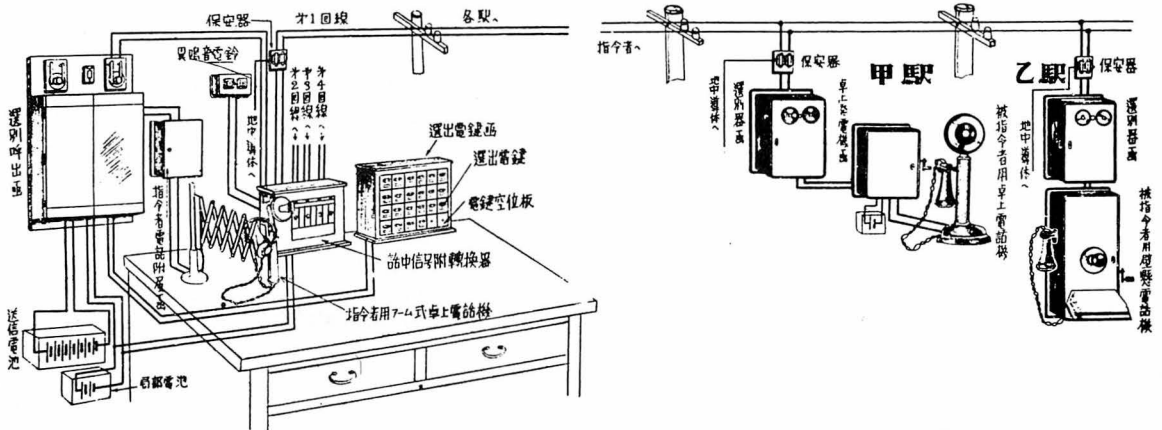
③-③ 断面



1. ウェスタン式指令電話装置 (概要)

指令者側装置

被指令者側装置



の指令者電話機と、30～40個の被指令者電話機を接続し、指令者が被指令者を呼出すときは、指令者側の所定の選出電鍵を操作し、回線に符号電流を送出し、被指令者電話機の選別器を動作させ任意の被指令者を呼出すことができる。また必要により回線全部または特定の群の被指令者を同時に呼出すこともできる。被指令者から指令者を呼ぶときは、被指令者電話機の磁石発電機のハンドルを回転すると、指令者側の呼出ランプが点火し呼出しができる。

本装置の種類には呼出方式によりウェスタン式・田中式などがあるが、国鉄では一般にウェスタン式を採用している。

図-1はウェスタン式指令電話装置の概要である。この式の選別呼出方法は、(+) (ー)の衝撃電流を交互に回線に送出し、その衝撃電流の組合わせによって被指令者電話機を選別するのである。本式には衝撃電流の数の合計が17のものと、27のものとの2種類がある。

いずれも3つの群に分けて組合わせ符号を作っているが、前者にあっては78、後者にあっては253個までの被指令者電話機を選別呼出すことができる。国鉄では前者を採用している。第1表は衝撃電流の17組合せ符号を示したものである。

指令者側装置は、選出電鍵(でんけん)・同電鍵箱、選出呼出